



関町小通信

平成30年9月3日
練馬区立関町小学校
学校だより 9月号

チャレンジする2学期

校長 加園 正子

今年の夏は、6月の早すぎる梅雨明けに始まりました。連日の酷暑のため、熱中症との戦いの中での1学期の終業式や夏季水泳指導になりました。ご家庭の協力もあり、幸い子供達が熱中症等になることもなく無事に夏季水泳指導を終えることができました。これから、今月末の運動会練習に向けても、熱中症予防に注意を払いながらすすめて参ります。今年は台風も多い夏でした。8月までの台風が20号にもなり、台風の発生が今までで最も多い年だそうです。九州・四国・近畿地方では、大雨の影響による土砂災害や水害があり、生活を脅かす自然災害が続きました。これからが本格的になる秋の台風が気になるところです。

そんな中、スーパーボランティアとして話題になったのが、山口県周防大島町で2歳の行方不明の男の子を救出した尾畠春男さん78歳です。尾畠さんの「見返りを求めないボランティア活動」と座右の名「刻石流水」を徹底した実践が、誰からも賞賛を受けました。尾畠さんは、地元の鮮魚店を65歳でたたみ、これまでお世話になってきたことへの感謝を社会に返したいという気高い意志をもってボランティア活動を継続している方です。その尊い行為に、とても感動した夏でした。

さて、今日から始まった2学期は、運動会、連合水泳記録会(6年生)、岩井移動教室(5年生)、展覧会等の子供たちが楽しみにしている学校行事があります。学校行事は、人との関わりを学ぶ絶好のチャンスです。これらの学校行事を成功させるには、学級や学年の中で、自分の役割を確実に果たすことが重要です。自分の役割を理解して真面目に取り組むことの尊さを知る絶好の機会です。いろいろな役割がありますので、自分がやりたいものやできそうなものに積極的にチャレンジして欲しいと思います。特に、高学年はリーダーになり、意見をまとめたり調整したりしながら、皆の心を一つにする役目があります。時には、自分の希望や意見が通らずに、言い合いになったり涙を流したりすることがあるかもしれません。そんな貴重な体験を積みながら、よりよいものを創り上げることを目指して、途中で投げ出さずに最後までチャレンジして欲しいのです。そして、自分の希望の有無に関わらず、与えられた役割や責任を、しっかりと果たすことの達成感を味わい、自分が必要とされていることで自己有用感を高め、自信につなげて欲しいと思います。そんな子供達のがんばりを温かく見守り、お子さんが悩んでいる時にはそっと背中を押してあげていただければと思います。私達教職員もチーム関小で、子供達を全力でサポートして参ります。今学期も、学校生活や地域活動を通して、一人一人の子供たちが、どんな成長をしてくれるかがとても楽しみです。今学期もどうぞよろしくお願ひいたします。